

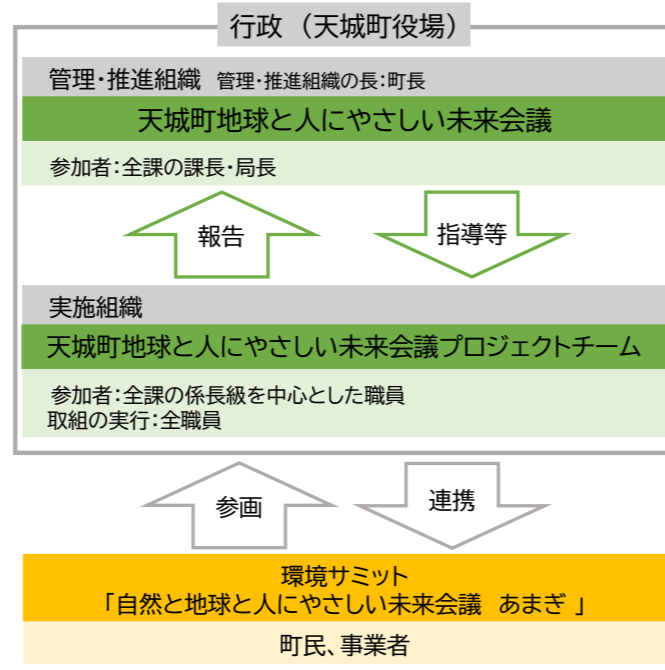
天城町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

—概要版—

令和6年3月

○ 推進体制

本計画の推進体制は、右図のとおりです。
主体となる行政の組織は「天城町地球と人にやさしい未来会議」であり、これを本計画の管理・推進組織として、脱炭素推進施策の合意形成、全体マネジメントや本計画のPDCA全般の管理を行います。
実務を担当する実施組織は「天城町地球と人にやさしい未来会議プロジェクトチーム」であり、脱炭素施策の取り組みを実施し、エネルギー使用量等データを収集、報告します。
町民、事業者は環境サミット「自然と地球と人にやさしい未来会議 あまぎ」を通して参画・連携し、脱炭素社会構築に向けた各種施策を強力に推進します。



○ 町民、事業者のみなさんへ

本計画は、町民、事業者、行政(天城町役場)をはじめとする町の各主体すべての参加による取り組みのもとで推進していく必要があります。行政での取り組みとともに、家庭や地域、学校や職場などにおいて、各々の主体がそれぞれの役割と責任を自覚して、自発的・積極的に取り組むことが求められます。
天城町における脱炭素社会の実現に向けて、みんなでしっかり取り組んでいきましょう！

【町民の役割】

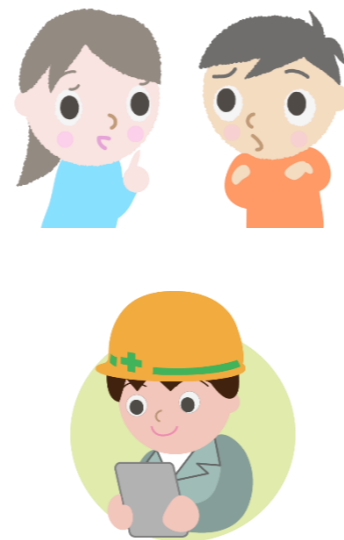
町民は、環境保全のためにできることを考え、持続可能なライフスタイルの実践に努めます。また、日常生活や社会生活において環境負荷の少ない行動を心がけ、行政や事業者と協力して、環境にやさしいまちづくりの実現に向けて、主体的に環境の保全と創造に取り組みます。

【事業者の役割】

事業者は、地球環境への影響を考慮した事業活動、社会貢献、環境に配慮した経済活動の実践に努めます。また、地域社会の構成員として、町民や行政とのパートナーシップのもと、環境汚染を防止し、環境負荷が少ない取り組みを積極的に推進することで、持続可能な経済、社会の発展に貢献します。

【行政の役割】

行政は、町民・事業者及び他の自治体などと連携を図りながら、町の行うべき取り組みを関係各課において推進します。また、本計画に記した取り組みの実施状況や目標達成状況を把握し、計画全体の進行状況を評価するとともに、取り組みの調整、検討を行います。



○ お問い合わせ先

天城町役場 企画財政課グリーン戦略係

〒891-7692 鹿児島県大島郡天城町平土野 2691-1 TEL：0997-85-5178

○ 計画策定の背景

天城町は、国が「2030年度に温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す」、そして「2050年までに温室効果ガスを実質ゼロとし、脱炭素社会の実現を目指す」と宣言したことを受け、天城町における脱炭素施策を推進すべく、この度「天城町地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(以下、「本計画」という。)を策定しました。
本計画をもとに、地域の課題解決に資する町全体での脱炭素化を効率的に進めてまいります。
地球温暖化対策について、みんなでしっかり取り組んでいきましょう！

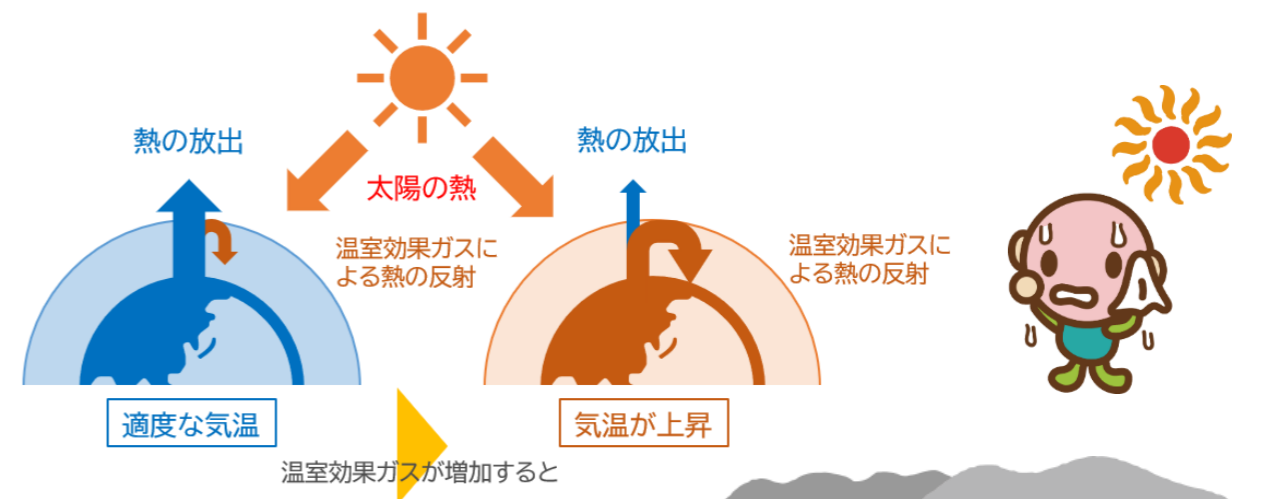


※ 本計画は「地球温暖化対策の推進に関する法律」(平成10年10月、環境省)第21条第4項に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」に該当します。

○ 「地球温暖化」ってなんだろう？

地球の表面は太陽の熱で温められています。余分な熱は宇宙に出ていきますが、その一部は大気中の「温室効果ガス(※)」に吸収されて地球全体の気温をほどよく保っています。
ところが、温室効果ガスが増えすぎると、宇宙に出るはずだった熱が地球にこもってしまい、地球の平均気温が上がってしまいます。これが「地球温暖化」の仕組みです。

※ 温室効果ガスとは、地球の表面から出る熱を吸収して、温室効果という地球の温度を保つ性質を持った気体のことです。今、日本が排出している温室効果ガスのうち約95%は二酸化炭素(CO₂)です。



地球の気温が上がると、各地で猛暑日が増加し、激しい降雨や洪水をもたらします。また、大型台風の発生も多くなります。



出典：「こども環境白書 2016」(環境省)、気候変動適応情報プラットフォームより作成

○ 基本理念

天城町が 2050 年の脱炭素社会の実現を目指していくための基本理念は以下のとおりです。

**ユイの心で未来へ紡(つむ)ぐ
地球と人とすべてのいのちのちにやさしい ゼロカーボン あまぎ**

基本理念には、天城町が古くから大切にしている「ユイ(助け合い)の心」、人間だけでなく、地球に暮らすすべてのいのちにとってやさしい「ゼロカーボン」の実現に向けて、これから皆が一丸となって取り組んでいく、という想いを込めました。

この基本理念に則り、一人ひとりが手を取り合い、小さくてもできることを積み重ねていく「ユイ(助け合い)の心」を活かして、脱炭素と地域課題を同時に解決する実現可能かつ持続可能な施策を、町民・事業者と協働して推進します。

取組方針① 脱炭素×環境学習、脱炭素型ライフスタイルを後押しする仕組みづくりの推進

町全体の温室効果ガス排出量を削減するためには、たとえ小さな事柄であっても、できるだけ多くの人が続いて、無理のない範囲で省エネに取り組む必要があります。そこで、脱炭素化についての環境学習や普及啓発イベントの実施、広報誌や SNS などを活用した情報発信を積極的に行い、町民・事業者への意識啓発を図ります。

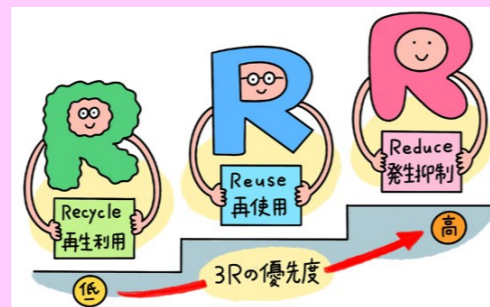
- 環境学習、普及啓発イベントの機会の充実
「あまぎ学」での環境学習の実施、
環境サミット「自然と地球と人にやさしい未来会議 あまぎ」の開催、など
- 広報誌、天城町ユイの里テレビ(AYT)、SNS 等を活用した情報発信
- 個人の日常生活での CO₂ 排出量を「見える化」



取組方針② 脱炭素×エコなライフスタイルの実践

町民、事業者一人ひとりが省エネ型の商品、サービスを選択するなど、日常の中で環境に配慮した行動を実践することが脱炭素社会構築の基礎になります。そこで、一人ひとりがエコなライフスタイルの実践に積極的に取り組むよう、働きかけを行います。

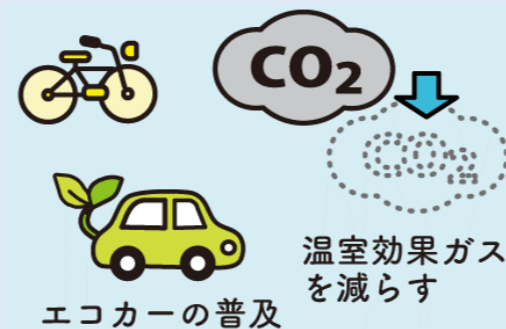
- 省エネにつながる行動・活動の推進
- 日常生活における 3R の徹底
- 食品ロスの減量化
- 地産地消の推進



取組方針③ 脱炭素×スマートムーブ(smart move)

CO₂ 排出の少ない移動にチャレンジするため、エコで賢い移動方法を選択する「スマートムーブ(smart move)」を積極的に推進します。

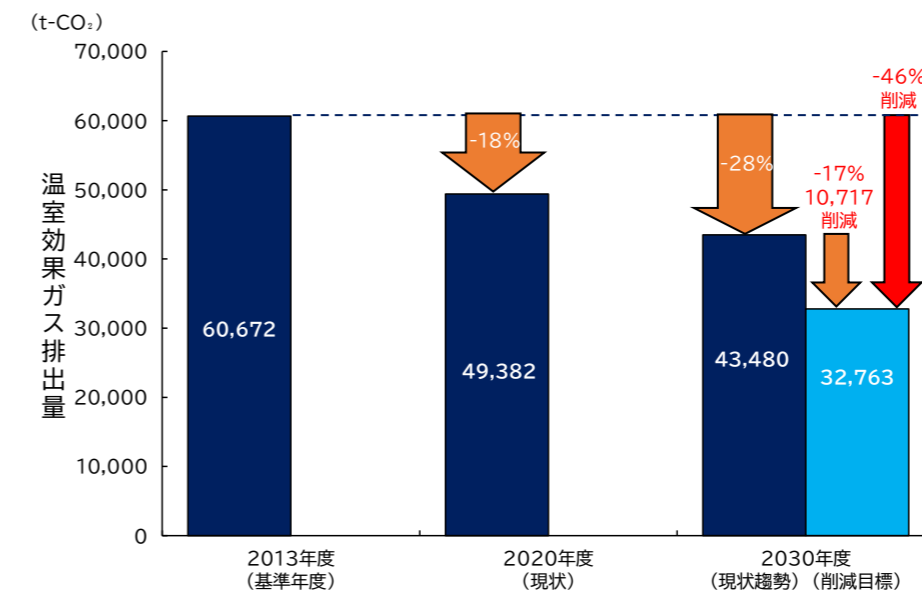
- 公共交通利用の促進
- 自転車、徒歩での移動の促進
- エコドライブ実践の促進
(CO₂ 排出の少ない電気自動車等の購入を含む)
- CO₂ 排出の少ない車両への転換
- カーシェアの推進、ライドシェアの検討



○ 天城町における温室効果ガス排出量の現状と削減目標

天城町の温室効果ガス総排出量の削減目標は以下のとおりです。

**2030 年度までに 基準年度(2013 年度)比 マイナス 46%
2050 年度までに 排出量実質ゼロ (カーボンニュートラル)**



取組方針④ 脱炭素×地域経済の活性化(まちの産業の持続的発展)

農業分野においては、遊休地等を積極的に活用して、基幹植物であるサトウキビやばれいしょ等の収穫量増大を目指すとともに、遊休地等への移動式太陽光パネル設置の検討を進め、地域における再生可能エネルギーの創出につなげます。次に、農畜産業で発生するメタン(CH₄)及び一酸化二窒素(N₂O)の排出削減として、メタン(CH₄)排出の少ない飼料への転換や、適正な窒素量の施肥を行います。また、世界自然遺産地域や国立公園内の豊かな自然環境を後世に渡って保全するため、「ゼロカーボンパーク」登録に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 遊休地等の積極的活用(農地化及び再生可能エネルギーの導入促進)
- 営農型太陽光発電の導入検討
- 農業で発生する一酸化二窒素(N₂O)の排出削減
- 畜産業で発生するメタン(CH₄)の排出削減
- 世界自然遺産地域を活用した持続可能な観光と「ゼロカーボンパーク」の推進
- 徒歩や自転車を活用した観光の推進
- 海域におけるブルーカーボンの検討



取組方針⑤ 脱炭素×災害に強いまちづくりの推進

台風襲来、離島であることを踏まえて、防災や避難場所の強化など、災害に強いまちづくりを推進します。津波・浸水、土砂災害に強い各地区の避難施設に順次太陽光パネル、蓄電設備を整備し、停電時にも防災拠点となる施設の設置に努めます。

- 防災関連施設への再生可能エネルギーの導入検討
- マイクログリッド構築に向けた検討

